

訂正版

訂正箇所: < 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 8 月 9 日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (8/9 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉圧力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系: 約 2.2 m³/h	38.2	105.8 kPa abs	A系: 0.01 vol%
		給水系: 約 2.9 m³/h			B系: 0.01 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系: 約 5.6 m³/h	50.5	4.85 kPa g	A系: 0.10 vol%
		給水系: 約 2.0 m³/h			B系: 0.10 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系: 約 5.1 m³/h	49.6	0.23 kPa g	A系: 0.24 vol%
		給水系: 約 2.4 m³/h			B系: 0.23 vol%

\* 絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

8/9 10:00~11:49 予備の窒素供給装置(高台窒素ガス分離装置)についてディーゼル発電機から小型ディーゼル発電機への取替作業を実施するため、一時的に同装置への電源供給を停止\*。また、本取替作業にあわせて、同装置の電源の多重化のため、予備の小型ディーゼル発電機を設置。なお、本作業開始にあたり、同日9:25、処理水バッファタンクバブリング用窒素ガス供給装置による原子炉格納容器および原子炉圧力容器への窒素供給を開始し、窒素ガス分離装置Bとの並列運転とした。

\* 原子炉施設保安規定第 12 章「中期的安全確保の考え方」に基づく設備の管理においては、「運転上の制限」や「運転上の制限を満足しない場合に要求される措置」等が定められており、運転上の制限を満足していない場合には、要求される措置に基づき対応することになっている。今回の場合は、保全作業の実施のため計画的に運転上の制限外に移行(8/9 10:00~11:49)して、一時的に高台窒素ガス分離装置への電源供給を停止。

## < 2. 使用済燃料プールの状況 > (8/9 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	28.5
2号機	循環冷却システム	運転中	28.8
3号機	循環冷却システム	運転中	27.7
4号機	循環冷却システム	運転中	36

\* 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘドランプの注入を適宜実施。

【4号機】8/9 6:51~10:23 6/30 に発生した使用済燃料プール代替冷却システムの無停電電源装置(UPS)の故障について、準備が整ったことから、プールの冷却を一時停止して、UPSの取替を実施(冷却停止時および再開時の使用済燃料プール水温度:36℃)。

## < 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
2号機	2号機タービン建屋	→ 3号機タービン建屋	8/8 18:10 ~ 移送実施中
3号機	3号機タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設[(プロセス主建屋)]	8/9 10:10 ~ 移送実施中

8/8 18:10 滞留水移送配管の信頼性向上を目的として、2号機タービン建屋地下から集中廃棄物処理施設への移送について、2号機タービン建屋地下から3号機タービン建屋地下への移送配管(ポリエチレン管)を敷設し、3号機タービン建屋地下を経由する運用に変更するための工事が完了したことから、2号機タービン建屋地下から3号機タービン建屋地下へ溜まり水の移送を開始。

※8月9日に公表した資料(下線部)に誤りがございましたので、訂正させていただきます。(8月10日訂正)

正: 集中廃棄物処理施設[(プロセス主建屋)]

誤: 集中廃棄物処理施設[雑固体廃棄物減容処理建屋(プロセス主建屋)]

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (8/9 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	運転中	停止中*	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

\* フィルタの洗浄を適宜実施。

- H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。
- H24/8/7 11:00 第二セシウム吸着装置の信頼性向上を目的として、耐圧ホースを鋼管に取り替えるため、同装置を停止。停止期間は約4日を予定。なお、当該工事期間中はセシウム吸着装置による処理を継続予定であり、滞留水処理、原子炉注水に問題はない。

<5. その他>

- H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- H24/2/23～ 6号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- H24/3/6 ～ 5号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。

以上